

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『息をのむ』

意味:驚いてはっと息を止めること。

ひとこと:とても驚いてビックリしたときに使う。

使い方:地震の被害を見て、あまりのひどさに息を呑んだ。

『板につく』

意味:動作や身なりが、その人に「よく似合っている」こと。

ひとこと:「板」は舞台のことで、役者の演技が舞台とぴったり調和しているということからきた言葉。

使い方:お父さんのほうちょうさばきも、ようやく板についてきた。

ことわざ

『一事(いちじ)が万事(ばんじ)』

意味:ひとつのことは見れば、他のことも全ておしはかることができること。

ひとこと:批判的に言うときに使う。

使い方:彼の机の中を見れば家での生活も一事が万事でよく分かる。

『一年の計は元旦(がんとん)にあり』

意味:何事もはじめにきちんと計画を立てなさいという教え。

ひとこと:「計」は計画のこと。

使い方:一年の計は元旦にありだから、元日に今年一年の計画と立てよう。